

## おうめ観光戦略（2024-2028）の骨子（案）

章構成・見出し	記載内容・補足
<b>第1章 おうめ観光戦略の策定について</b>	
1-1 戦略策定の背景・目的	これまでの観光戦略の経過とポストコロナを踏まえた新たな観光振興
1-2 戦略の位置づけ	第7次青梅市総合長期計画を上位計画とする
1-3 計画の期間	令和6（2024）年から令和10（2028）年までの5年間
<b>第2章 青梅市の観光を取り巻く環境の変化</b>	
2-1 国の観光動向	第4次観光立国推進基本計画から引用
2-2 都の観光動向	改定中の東京都観光産業振興実行プランの策定資料から引用
2-3 青梅市の観光動向	これまでのおうめ観光戦略の経過、振り返りを記載
2-4 青梅市の地域資源	市内の地域資源（自然資源、人文資源など）を記載
<b>第3章 青梅市の将来に向けた観光振興のありかた</b>	
3-1 青梅市の観光の現状と課題	第1回懇談会資料（DS. INSGHT、RESAS、各統計資料およびWEBアンケート調査）から引用
3-2 将来像	長計の「住む人も来る人も青梅の魅力を体感できるまち」をもとに検討し記載
3-3 目指すべき地域の姿	長計の「世界水準の持続可能な観光地づくりが進められ、青梅市内外の人たちが四季を通じて青梅の魅力に親しみ、これらが地域経済の好循環につながる。」をもとに検討し記載
3-4 数値目標	観光消費額、来訪者数、観光客の満足度、市民の満足度など検討し記載
<b>第4章 観光戦略の基本戦略</b>	
4-1 基本戦略	3-3 目指すべき地域の姿にもとづき、基本的な戦略の考え方を記載
4-2 施策の方向性	
【基本戦略1】持続可能な観光地づくりの推進	「日本版持続可能な観光ガイドライン」にもとづいた観光地経営の実施（モニタリングと評価の実施）、地域の環境や文化の保護と活用、交通結節点における乗換え環境の充実（二次交通、デマンド型交通）、脱炭素の推進、観光DXの推進
【基本戦略2】インバウンド対応の推進	インバウンドに対応した人材育成、多言語化対応、インバウンド向け環境整備（トイレ洋式化、Wifi整備）
【基本戦略3】市民、事業者と一体となったプロモーションの展開	OmeBlueの推進、責任ある旅行者（地域の環境や文化に配慮するマナーある旅行者）の啓発、サステナブルツーリズム10か条（仮）の作成、多様な媒体での情報発信
【基本戦略4】観光資源の高付加価値化による収益力の向上	観光資源を掛け合わせたコンテンツ開発、周遊コース整備、宿泊施設の整備推進、地場産品の使用推奨、
<b>第5章 観光戦略の推進体制</b>	
推進体制と役割分担	市、観光協会、事業者、市民、観光客の役割分担および推進体制を記載
<b>資料編</b>	検討委員会や懇談会の要綱、開催経過、用語集